



ライカ バリオ・エルマー TL f3.5-5.6/18-56mm ASPH.

価格21万600円

遠雷と降雨が途切れない悪天候の中、機関庫の前で転車台に乗る蒸気機関車を撮影。煤煙と歴史の重みが層を成す漆黒の車体からとつともない質量を感じる蒸気機関車だが、今夜は水滴と作業灯の反射が車体を立体的にまめかしく見せている。三脚など立てる暇の無い取材の最中、ライカCLは感度をISO6400まで上げての手持ち撮影でも細部まで極めてシャープに描写してくれた。

(ズーム・ワイド側)
シャッター速度 1/60秒
絞り f4
撮影感度 ISO6400
フィルムモード 標準(コントラスト:中 シャープネス:中 彩度:高)



(ズーム・テレ側)
シャッター速度 1/320秒
絞り f5.1
撮影感度 ISO800
フィルムモード ナチュラル(コントラスト:中低 シャープネス:高 彩度:中低)

ライカ バリオ・エルマー TL f3.5-5.6/18-56mm ASPH.

価格21万600円

蒸気機関車の発車に費やす準備は電車のソレとはまったく比較にならないほどの手間と時間がかかる。釜に投炭し、ボイラーを温め、機関の作動部のあちこちから水蒸気や熱湯が滴り、どの部品ひとつとっても味わいを感じずにいられない。この70年を経た連結棒の質感をライカCLとバリオ・エルマー18-56mmは落ち着いたトーンと渋い色合い、画面全域で引き締まったシャープな描写をしている。

こ
ん
な

な
男
子

寫
真

に
變
を

す
る

細やか描写にゾッコン☆ラブ



こちらは作例のテレ側カットの中心部を拡大したものです。どうですかこのシャープな描写。ISO800での薄暗がり手持ちスナップとは自分でも思えません。一見地味な風味の仕上がりに見えながら、トバすことなくツブすこともなく細部まであますことなく忠実に描写するというライカレンズの濃みを感じました。ドイツ万歳。

電子寫真機戀愛

日本よ、これがドイツの

カメラだ! ライカ CL

第三
八
夜



写真と文 織本知之
高品質なライカカメラは撮って最高、持つ本意です。さすがドイツ製、あたくしも実はドイツ車を愛用してまして、独自の科学力は世界イティイ! と言いたいところですが、天井の内貼りがかさねり落ちてきやがりました。あ、ドイツデザイン、メキシコ製だからか……コモエスタ。

2424万画素CMOSセンサーを採用。LEICA MAESTRO II Generation 画像処理エンジンにより、ISO100 からISO50000までの幅広い撮影感度で高画質を実現。連続撮影機能も10コマ/秒と必要にして充分な連写性能を備え、AF性能も49点エリアAFで素早く確実なフォーカス。と、このライカCLはおよそ考えられる通常のあらゆるモチーフに対応することが出来る撮影機能を持っているのであります。

外観デザインに目を向ければ、トップカバー部から優美な曲線を描く丸型の接眼部を持つ電子ファインダーは236万ドットのクリアで各種情報も見やすいスグレモノ。もちろん背面モニターも3.0型のタッチパネルで操作楽々の快適ライブビュー撮影。動画機能も4K30p記録と充分です。

またシャッター手前にふたつの並んだダイヤル配置が特長的で、それぞれのダイヤル上部はボタンも備え、撮影モード選択や機能の割り当て選択などを行います。そのダイヤルの間には小型の液晶パネルを装備し、撮影モードや絞り値、シャッター速度、露出補正が表示され、カメラの状態をひと目で把握することができるようになっております。

このように、完成度、質感ともに高いレベルのボディであります。やはりライカの名声を実感したいのならばレンズをじっくり味わってから「さすがはライカ」と言いたいところでございます。

そこで「ライカ バリオ・エルマー TL f3.5-5.6/18-56mm ASPH.」はどうでしょう。こちらは35mm判換算にて27mmから84mm相当のきわめて実用的なズームであります。これを聞いて「普通の標準ズームじゃん!」とお考えの紳士もおられまじやうが、このいたって普通のスペックに思えるレンズもライカCLにひとたび装着させますれば、俄然その存在を輝かせてくれるのでございます。全金属製の高級感のある仕上がり重量感にライカレンズらしい品格を持ち、しっとりとしたトルクを感じながら回せるスムーズなピントリングにズームリングの質感の高さはもうずーっとなでして欲しい所有欲を抱かせる逸品ズームなのであります。

シンプルで高級感漂うデザインとズーム全域で緻密にディテールを描写するシャープなこのレンズは撮影ジャンルを限定することなくあらゆる被写体で細部に迫る撮影を可能とした万能ズームでありました。

書斎で夜な夜な愛でもよし、写真をどしどし撮るも良しの高品質カメラ「ライカCL」秋の夜長にぜひどうぞ。

ライカ ライカCL



APS-Cサイズセンサー
有効画素数2400万画素
画像処理エンジン[LEICA MAESTRO II Generation]搭載
4K動画(30fps) EyeResファインダー採用
Wi-Fi接続、専用アプリLeica CL App対応 ISO100~50000
ボディ幅約131×高さ約78×奥行約45mm
本体質量約353g(本体のみ) ボディ価格36万7200円
レンズ/ライカ エルマリートTL f2.8/18mm
ASPH. ブラック レンズ価格15万6600円
©ライカサポートセンター ☎0120-03-5508

こんな角に福きそう。



この硬質なボディと妖艶な丸み、エッジの処理などまったく撮影に影響のないトコロの仕上がりが所有者のモチベーションアップという点ではとてもよく効いていると思います。カメラの実用性のみだけではなく、ロマンという隠し味をひと匙足してきているライカCLは撮る前から傑作写真をモノにしちやいな予感にうっとり。(傑作には個人差があります)



見よ、ライカのエンブレム。

スタイルは伝統的ですが、現代的なEVFと撮影機能を備えたライカCLには他のカメラとは一味違う魅力を備えております。そしてライカのエンブレムの威光はまだまだおとろえず、「あ、ライカだ!」という視線を道々感じるのほくすぐたいような自慢したいような。(お借りモノですが)